



県内ロケ地巡り



こおりがわ
郡川 (大村市)

多良山系から大村湾へ注ぐ全長15.9キロ、大村市を代表する川です。流域には、黒木溪谷の紅葉や鬼橋町周辺の桜並木など、自然に親しめるスポットも多く、河口に位置する大村市総合運動公園からは大村湾に沈む美しい夕陽を眺めることができます。国道34号線上の郡橋(旧長崎街道)の周辺には、かつて飛び石が設置され、徳川吉宗に献上された象も通ったとされています。

映画「こはく」

2019年公開 主演:井浦 新、大橋 彰(アキラ100%)

長崎県出身の横尾初喜監督作品。幼い頃に失踪した父を探す兄弟を通して家族を描いた物語で、全ての撮影が県内で行われました。

物語の象徴となった夕景のシーンは郡川の河口で撮影。監督が移動中に遭遇した美しい夕陽に惚れ込んだことで、ロケ地が決まりました。

主人公の亮太とその兄の章一の幼少期を演じたのは、約400名が参加したオーディションにより選ばれた県内在住の小学生の兄弟で、郡川ロケが最初の撮影であったにもかかわらず、堂々とした演技を見せてくれました。



©2018「こはく」製作委員会

特別な許可を得て郡川の中州でロケを行いました。

大村市でロケが行われた主な作品

大河ドラマ「龍馬伝」

2010年放送 出演:福山雅治、香川照之



(大村市提供)

坂本龍馬と勝海舟が伝馬船で咸臨丸に乗り込むシーンは大村公園裏手の寺島周辺の海で撮影されました。

県民エキストラ登録募集中!

ロケ支援の総合窓口である長崎県フィルムコミッションでは、撮影に協力していただける県民エキストラを随時募集しています。登録はこちらから⇒



問合せ 長崎県フィルムコミッション[(一社)長崎県観光連盟内] ☎095-826-9407

長崎県フィルムコミッション 検索